

# この人に聞く

なかしま もとはる  
**中島 基晴さん**  
（株）中島商店 専務取締役



## 元気な備後しまなみを目指して

■昭和42年7月12日福山市生まれの38歳。広島大学附属福山高校から61年春、慶應義塾大学商学部へ。同大学卒業後、伊藤忠商事株式会社、食品部門の商社マンを経験。平成9年6月家族とともに帰郷、父親の経営する（株）中島商店入社。小学校2年生から水泳を始め、高校時代に国体出場。今も国体予選に挑戦する。

■（株）中島商店（福山市御船町1丁目13-5、中島良昭社長、☎084-922-4870）。明治42年4月創業、昭和42年10月設立。砂糖、小麦粉、米穀、食用油、各種調味料、食品添加物など食品全般とユニフォーム、保命酒関連商品を販売。  
<http://nakataku.com>

東京では伊藤忠商事（株）の商社マンだった中島基晴さんが保命酒を使った福山の新しい特産品づくりに励んでいる。福山市御船町で砂糖、小麦粉、製菓原料などを扱う老舗、（株）中島商店の専務として地域の得意先を回り、食品をつくる中小企業の技を知り、鞆の浦で今に生きる保命酒の魅力と掛け合わせた。

これまでに生み出した商品は「保命酒ジェラート」「保命酒ゼリー」「七匹ミニたい焼き」など九品に上る。高校時代は水泳の国体選手。今も泳ぎ続けているという中島基晴さんに聞いた。

### ■企画のきっかけは…

先輩と飲んでいたお店にたまたま保命酒がありました。中核市の福山にはこれといった土産物がなく、なんとかしたいと話合っていたときでした。今も四軒が軒を並べる保命酒は大変な歴史があります。それなのに福山には保命酒を知らない人が多く、驚くばかりです。これでは保命酒を売るのは難しく、もっと身近な商品が必要だと思いました。

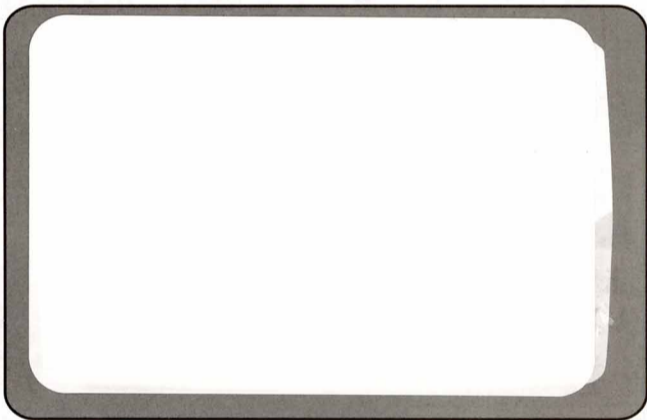
### ■企画はいつごろから…

二年ほど前でしょうか。保命酒は薬酒で若い人にはとつき難い面があります。まず年齢層を広げるためにお菓子のスイーツ関係の商品を考えました。保命酒の酒粕といろいろ

なスイーツを組み合わせて試食。これはいけそうだという手応えを地元の商品メーカーに持ち込みました。既存の商品に新しいレシビを加える考え方だったこともあり、先方も快く開発してくれました。

### ■具体的な商品は…

第一弾は今年四月に発売した五品です。府中市の東屋さんの協力です。くった「保命酒ジェラート」はほのかな保命酒の香りとジェラート特有の舌触りが楽しく、さっぱりした後味です。「保命酒アイスキャンディー」も東屋さんにお願しました。試行錯誤を繰り返して、およそ一年がかりで完成しました。



「七匹のミニたい焼き」は全国に甘味を発信する市内のマルト製菓（株）さんの協力です。鯛網観光中は人気でした。今後は全国へ泳いで行ってくれることを願っています。

保命酒で紀州産の青梅を漬けたエキスを使った「保命酒ゼリー」は洋菓子店「サンク・ラ・フィユ」さんの協力です。

そして「保命玉（ほめたま）」は保命酒と保命酒粕を練り切った懐かしい手作りの飴玉です。ちよっとしたお土産用に人気があります。

八月には第二弾として四品を企画開発しました。「保命酒羊羹」「三種

は和菓子店「有福堂」さん、「保命酒ぷりん」「保命酒生シヨコラ」「保命酒コンフィチュール」は尾道の洋菓子店「ナチュール」さんの協力です。いずれも一度は試して欲しい絶品です。

### ■発売後の反応は…

おかげ様でいずれも好評です。季節商品もあり、波はありますが、リピーターが増えています。当社や製造元で販売していますが、原価や生産ロットの関係で量販タイプのお店には扱ってもらいにくく、限られた土産品等の売場しか販売していません。全商品が揃うのは当社です。ご来店、お電話、FAX、インターネットなどでご注文をお受けしております。

### ■今後は…

第三弾は来年になりそうです。実



は保命酒以外にも備後しまなみの素材を使った商品を企画しています。例えば、地元の吉田醤油を使った「こだわりの醤油飴」、伯方の塩を使った「塩切飴」、いわぎ島のもぎたてレモンを使った「れもん飴」などです。これらの商品を単なる売り物でなく、地域の名刺代わりの商品として広め、ネット販売に力を注ぐつもりです。

### ■水泳とビジネスは…

もし収益が出た場合は一部を地元のスपोर्टス振興に役立てる循環型ビジネスモデルの確立を目指しています。この夏、わずかながら水泳のピート板費用を寄付することができました。特産品を多くの人に知ってもらい、元気ある備後しまなみを実現したいですね。

